



## CONTENTS

- ◆ ご挨拶 事務長 藤田 裕之
- ◆ 着任医師紹介
- ◆ 海南・海草在宅医療連携拠点事業 (TaWaSiねっと) について
- ◆ 眼科紹介
- ◆ 薬剤科よりお薬豆知識

<基本理念>

**博愛と信頼**

市民とともに新たなる進化をめざして

<基本方針>

- ① 市民から信頼される、安全で良質な医療を提供します。
- ② 地域の中核病院として、関係機関と連携し、地域医療の発展に貢献します。
- ③ 患者さまの尊厳・権利を尊重し、地域の人々に開かれた病院づくりを進めます。
- ④ 教育・研修機能を高め、医療レベルの向上と人間性豊かな医療人の育成に努めます。
- ⑤ 公共性を堅持しつつ、経営の健全化を図り、安定した病院運営をめざします。

## ご挨拶



皆様方のご協力により、海南医療センターとして生まれ変わって1年余りが経過しましたが、移転までの準備期間も含め、多くの貴重な経験をさせていただきました。

中でも、視察や勉強会等を通じ、他院の方と活発に情報交換を行う機会が増え、先進事例や医療制度の動向など、様々な情報の獲得はもちろん、各部署が自らを客観的に比較・分析することで、職員の意識改革にも繋がるなどの効果が出てきております。

また、病院は、医師、看護師、各医療技術職、アシスタント、事務、受託業者様など様々な職種で構成される組織ですが、様々な課題に対し、職種や立場に関係なく相互協力ができている病院は、医療やサービスの質も向上し、経営改善にもつながっています。

最近では報道等で「2025年問題」など、「医療」や「介護」の話題をご覧になることが多いと存じますが、本年の医療法等の改正によって、これからの医療・介護は、周辺の関係機関が連携し、その機能を相互に補完しあうことで、地域全体として確保・充実を図っていくこととなります。

今後、より一層、当院の医療サービスの質の向上を目指すとともに、当センターがこの地域で中心的な役割を果たしていけるよう、職員一人ひとりが「相互協力」を胸に日々努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

事務長 藤田 裕之

## 着任医師紹介



Yuuji Kitabata

本年4月1日より、海南医療センター外科に赴任いたしました北畑裕司です。

外来診察は、月曜と金曜の午前中です。

一般外科、消化器外科疾患などの手術を担当させていただきますが、今後は積極的に腹腔鏡下手術も取り入れていきたいと考えております。

少しでも海南・海草地域の医療に貢献すべく、信頼できる医療を提供できるように努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

【専門】 外科一般、消化器外科、内視鏡検査 外科 北畑 裕司





Koudai Kuriyama

本年7月より内科に赴任させていただくことになりました栗山幸大（くりやまこうだい）です。内科の一員として新たに加わることができ非常にうれしく思います。

これまでは内科の中でも、主に血液内科という分野を専門として、従事しておりました。

貧血・血液異常による難病特定疾患・血液悪性疾患（悪性リンパ腫・白血病）などを中心に診療させて頂いております。和歌山県下でも、血液内科の診療が行われている病院は非常に少なく限りがあります。

海南や周辺地域の方が遠方まで行かなくても、当院を中心に受診・治療ができるよう、また必要な際は和歌山県立医科大学附属病院や日赤和歌山医療センターと連携をとりながら、診療を行っていきたいと考えております。

最善の医療を提供できるよう頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【専門】血液内科 内科 栗山 幸大



Keiko Kusumoto

私は和歌山県立医科大学を卒業後、附属病院での勤務を経て2014年4月から当センターに赴任し、眼科医長の中田元子医師とともに眼科診療、手術にあたらせていただいております。

和歌山県立医科大学の指導の下、地域の開業医の先生方と連携しながらより良い医療を提供できるよう日々努力し、研鑽をつんでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

【専門】眼科一般 眼科 楠本 恵子

## 海南・海草在宅医療連携拠点事業（TaWaSi ねっと）について

高齢化が進行する中で、住み慣れた地域で暮らし続ける環境をつくるためには、医療・介護にまたがる様々な支援を提供する必要があります。在宅医療連携拠点事業とは、和歌山県地域医療再生計画の1つで、医療や介護に関わる様々な職種が協働し、地域における包括的かつ継続的な在宅医療の提供を目的とする事業です。

海南・海草地域は当院が中心となり取り組んでいます。在宅医療を進め、海南海草の医療機関をネットワークで繋ぎ、地味だけど強い郷土の名産品、「たわし」のような医療連携を作りたいという思いを込めて TaWaSi ねっと（たわしねっと）の愛称を付けました。

継続的な在宅医療を進めるために、多職種での顔の見える連携を推進し、在宅医療を必要とする患者さまに対する支援体制を構築することを目的に、4月26日、保健福祉センターにおいて事業の説明会とシンポジウムを開催しました。基調講演では岩出市の安川診療所・院長・安川修先生に先行事例をご紹介いただき、シンポジストの方々からは在宅医療の現状と課題について発表していただきました。まだまだ課題はございますが、地域での協力関係が深まったと感じております。

今後はさらに連携を深め、患者さまに安心して在宅医療を受けていただけるよう努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

自宅でのご自身の薬はどのように管理されていますか？

「もらってきた袋に入っている」「袋から出して自分なりの仕分けをしている」「薬局で1回分ずつパックにしてもらっている」性格や生活リズムなどにより最適な管理の仕方は様々ですが、飲みやすいように、忘れないようにとシートを1回分ずつ切り分けている方は要注意です。最近包装シートを誤って飲み込んでしまう事故が増えています。

例えばこんな事故が報告されています。

- 処方された薬を包装ごと飲みこんだ。喉が痛く救急車で病院に行ったが、喉仏の裏側に薬が引っかかってレントゲンでは見つからず、数時間かけて内視鏡で取り出した。
- 薬の包装を朝昼晩の分に分けて小さく切っている。小さいので薬だと思い、そのまま包装ごと飲んでしまい、喉に刺さった。
- カプセル入り胃薬をパッケージから出し、1錠口に入れたら、水で濡れていた指に付いていたパッケージも一緒に口に入れたらしく喉元に角が引っかかった。

これらの事故を避けるために、包装シートは1錠ずつ小さく切り離さないようにお願いします。



薬剤師 中谷 有希

## 第20回 市民公開健康講座

日時 平成26年9月6日(土) 13:30~

場所 海南保健福祉センター

### 1部 C型慢性肝炎の最新の治療 ~治癒率90%の時代を迎えて~

講師 海南医療センター 内科 喜田洋平医師(日本肝臓学会専門医・指導医)

C型肝炎は、C型肝炎ウイルスの感染により、急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変と進行し、肝硬変になると年率7~8%肝細胞がんを発症する進行性の疾患です。最近の治療法の発展で、20年前には数%しか治癒できなかったタイプも90%治癒する時代になりました。

また最近問題になっているのは、感染していることを知らない一般市民の方がいらっしゃるということです。市民公開講座ではウイルス性肝炎の最新治療を中心に、肝炎ウイルス検診につきましてもお話しさせていただきます。

### 2部 かかりつけ医を持ちましょう

海南医療センター地域連携室 海南・海草在宅医療連携拠点事業(TaWaSiねっと)

※ 参加費は無料です。

※ 予約の必要はありません。

ご近所の方、知人の方をお誘いのうえ、奮ってご参加ください。

お問い合わせ：海南市 健康課 電話073-483-8441

## 眼科紹介

海南医療センター 眼科について紹介させていただきます。

診察日は、月、水、木、金の午前中で、火曜日は手術日になっています。

また、午後からは視野検査等の特殊な検査の予約診療のみとなっており、ご不便をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

当院眼科では、眼科一般の診察、白内障手術、老人性眼瞼下垂症、翼状片、霰粒腫などの外眼部手術、糖尿病網膜症や網膜裂孔などのレーザー手術に対応しています。

### 主な病気の説明

「白内障」・・・眼の中の水晶体という部分（カメラで言うとレンズにあたる部分です）が濁ってくる病気で、先天性のものや続発性（他の病気などが原因で二次的に起こる）のものもありますが、加齢性のものが大半です。  
レンズの濁りにより、まぶしさを感じたり、視力が低下してきます。

「糖尿病性網膜症」・・・糖尿病の合併症の一つで、血糖が高くなることにより網膜の血管が障害され、出血、白斑などが出現します。  
単純型、前増殖型、増殖型と分類されますが、進行も放置していると大出血を起こしたり、牽引性の網膜剥離や新生血管緑内障を引き起こしたりして失明の原因になります。糖尿病にかかっている方には、定期的な眼底検査をお勧めいたします。

「緑内障」・・・眼の神経が圧力（眼圧）に負けて、ダメージを受ける病気です。  
眼圧が正常でも、視神経がダメージを受ける場合（正常眼圧緑内障、日本人には一番多いタイプ）や、急性発作（激しい目の痛みや頭痛、嘔吐するときも）を起こす場合、慢性的に進行し本人が気付いた時には、かなり視野障害が進行している場合もあります。眼圧を十分に下げることで進行を抑えます。

「加齢性黄斑変性」・・・最近、日本で増えてきている高齢者に多い病気です。  
黄斑部という網膜の中でも、物を見る中心となる、大事なところが傷んできます。以前は治療法が全くありませんでしたが、最近では滲出性のものでは進行を抑える特殊なレーザーや、眼球へ投与する薬が出てきていますが、いまだ萎縮性のものには良い治療法がないのが現状です。

### \*お知らせ

たとえば、糖尿病網膜症や、飛蚊症（何かものが飛んで見える場合）などで、眼底検査をするときは、「散瞳」といって、目薬で、瞳をひろげる処置をします。散瞳すると、屋外では、まぶしくなり、見えづらくなりますので、検査の日は、自動車や、単車の運転を避けて、電車等でお越しく下さい。視野検査、眼鏡処方、レーザー手術などは後日の予約となりますので、ご了承ください。

# 海南医療センター外来診察日程表

( )内は非常勤・派遣医師

平成26年7月1日現在

	月	火	水	木	金
内科	山田	(羽野)	中西	山田	中西
	日比野	西野	(園木)	西野	日比野
	中村	喜田	喜田	(坂頭)	中村
		栗山			(古川)
新患診	(坂頭)	(菊池)	(金井)	(赤松)	(平野)
午後診察		(菊池)	(金井)	(赤松)	(平野)
		【呼吸器外来】 日比野 【禁煙外来】	【呼吸器外来】	【呼吸器外来】 (三家) 【糖尿病外来】	【呼吸器外来】
小児科	重里	(島)	(奥谷)	中尾	(樋口)
	中尾	中尾	中尾	重里	重里
午後診察	中尾 【内分泌外来】	中尾 【乳幼児外来】	重里 【発達外来】	重里 【神経外来】	重里 【検査予約外来】
外科	落合	佐々木	玉置	佐々木	北畑
	北畑		落合		玉置
午後診察	落合 【乳腺外来】				
整形外科	中谷	中村		中村	中谷
	中村	中谷			
皮膚科	貴志 (医大医師) 月1回(不定期)	貴志	貴志	貴志	(中瀬)
泌尿器科	小川	曲 小川	小川	曲 小川	小川
婦人科	岩橋	岩橋	岩橋	岩橋	岩橋
眼科	楠本		楠本	中田	中田
10:30~11:30					【コンタクト外来】 第1・3週
耳鼻いんこう科	(医大医師)		(医大医師)	(医大医師)	
健診センター	(溝端)	日比野	佐々木	日比野	佐々木

診療受付時間 【月～金曜日】 8:30～11:30 《耳鼻いんこう科：～11:00》  
《皮膚科・医大医師：～11:00》

- ◎ 予約されている方や紹介状のある方が優先となります。予約をされた方は予約時間にお越しください。早くお越しになっても、お待ちいただくこととなります。  
※紹介状をお持ちの方は、できる限り事前に当院の海南地域連携室で予約をお願いします。
- ◎ 表中の医師名の黄色い部分の診察は予約診察のみです。
- ◎ 内科の新患診担当医師は検査等の都合により変更となる場合があります。
- ◎ 代診や休診の場合もございますので、ご了承ください。